



経営統合後の 中期経営計画に関するご説明

2022年5月19日

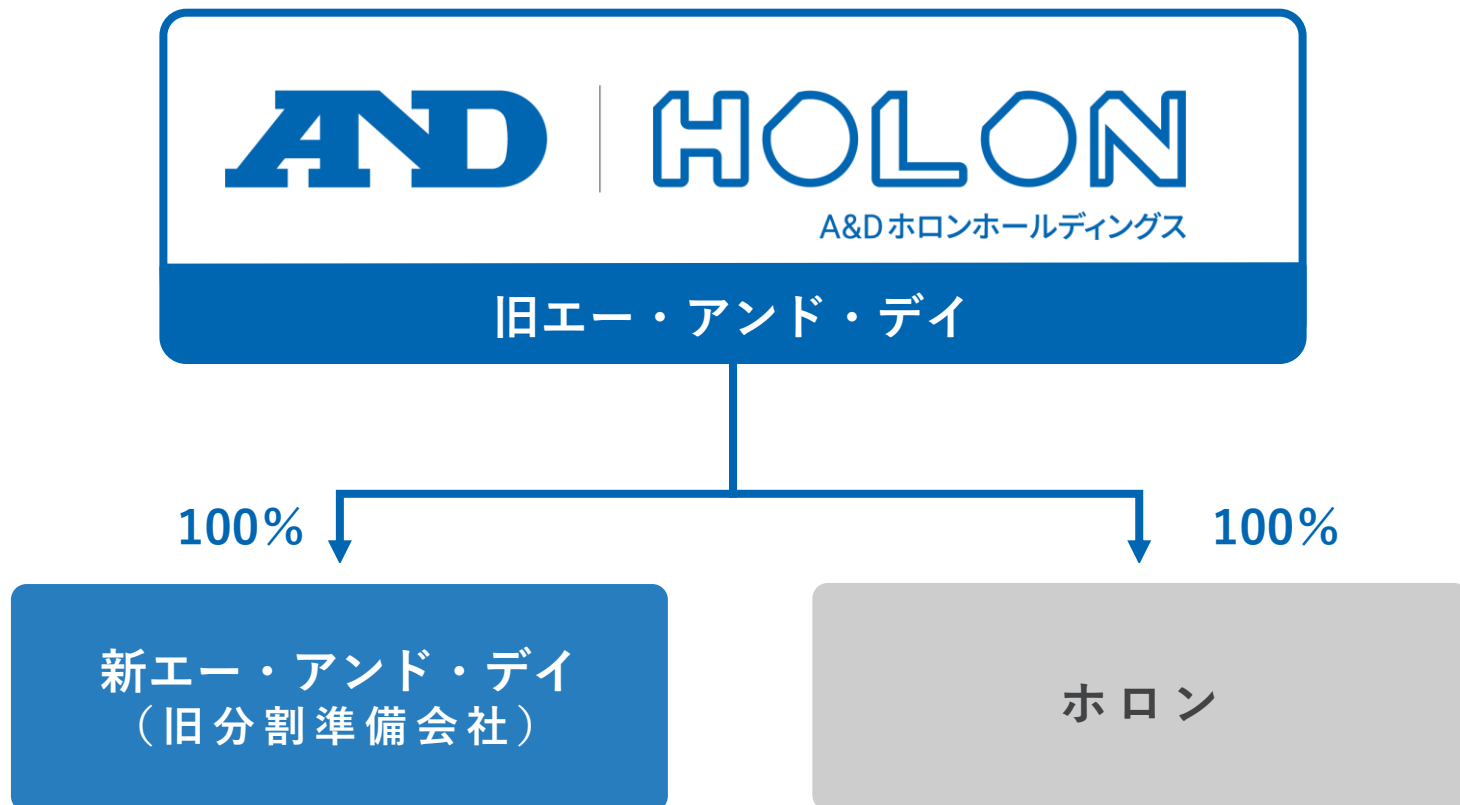
<ご注意>

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。

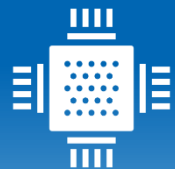
A & D ホロンホールディングス体制



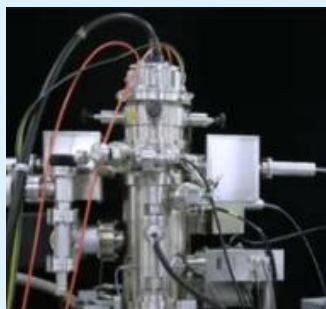
2022年4月1日、持株会社体制への移行を伴う経営統合を実施し、A & D ホロンホールディングス始動



多様化する社会変化に迅速に対応するため、グループ力を結集し、
今まで以上にお互いの技術力・経営資源を有効活用することで持続的な成長を目指す。



デジタル社会



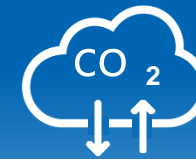
半導体のさらなる微細化実現に
対応する機器の供給を通じてデ
ジタル化社会の発展に貢献する



健康長寿社会



遠隔医療・リモート診断の体制
構築に寄与することにより健康
長寿社会の実現へ貢献する



カーボンニュートラル の実現

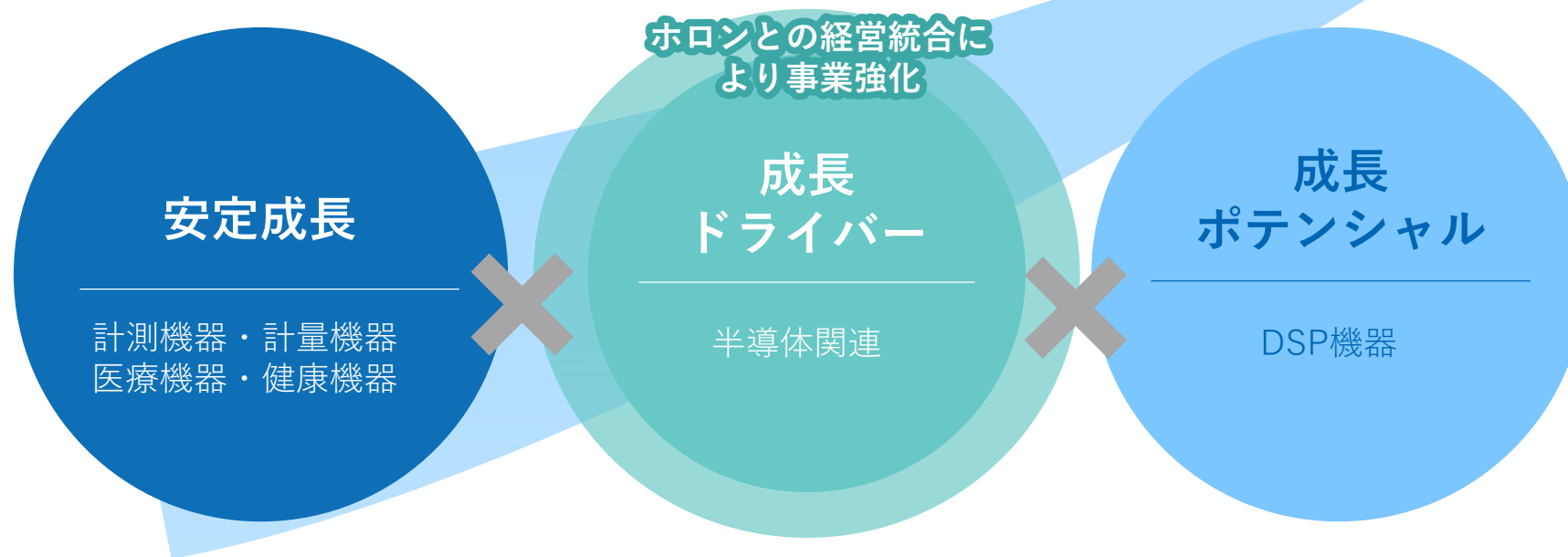


カーボンニュートラルに向けて
取り組んでいる産業を計測・計
量技術でサポート

多様化する社会の変化に対応

事業ポートフォリオ経営を強化し成長スピードを加速

- 事業環境の変化に対して両社が適切に対応し、両社の持続的な発展を実現
- 両社の企業文化や独立性を保ちつつ、重複する業務をできる限り効率的に集約できる経営体制を構築し、両社を含むグループ全体の企業価値を向上



グループ戦略機能の強化

- 経営と事業の分離による効率化、迅速な意思決定が可能
- 事業環境の変化に応じたグループ内の組織再編等の施策を柔軟に実施

グループ経営資源の有効活用

- 経営資源を成長が見込める事業分野や事業会社に集中し積極的に投資を実行
- 人材配置の最適化

新領域への挑戦

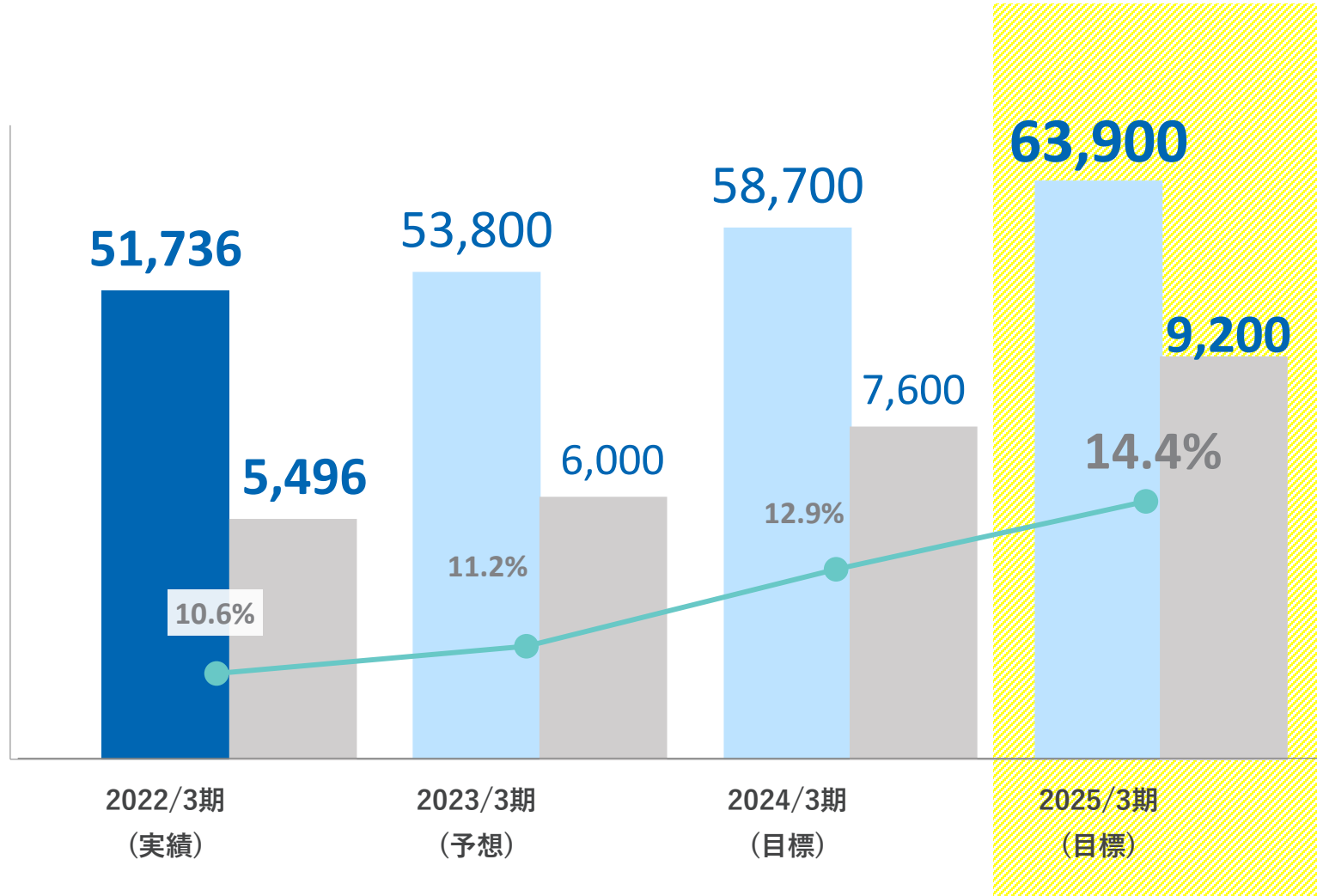
効率化・生産性向上、コスト削減効果

購買機能活用による
コストダウン

生産設備活用による
生産性向上

海外拠点の活用

中期経営計画数値目標



2025年3月期

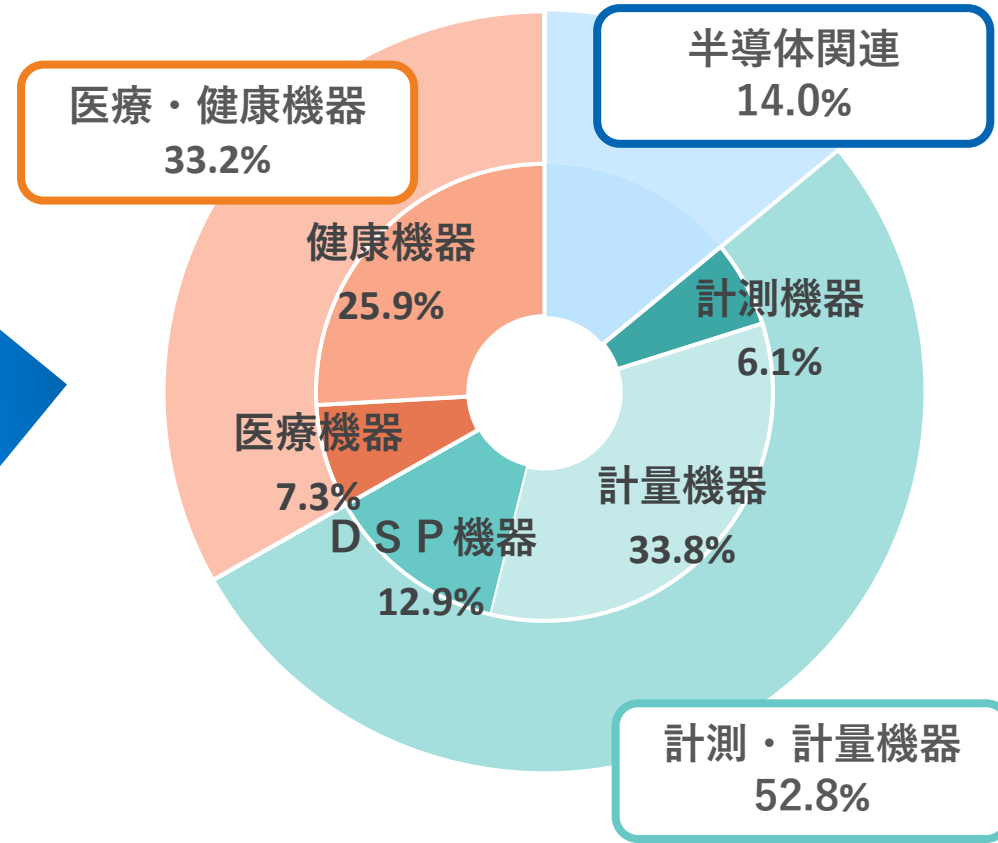
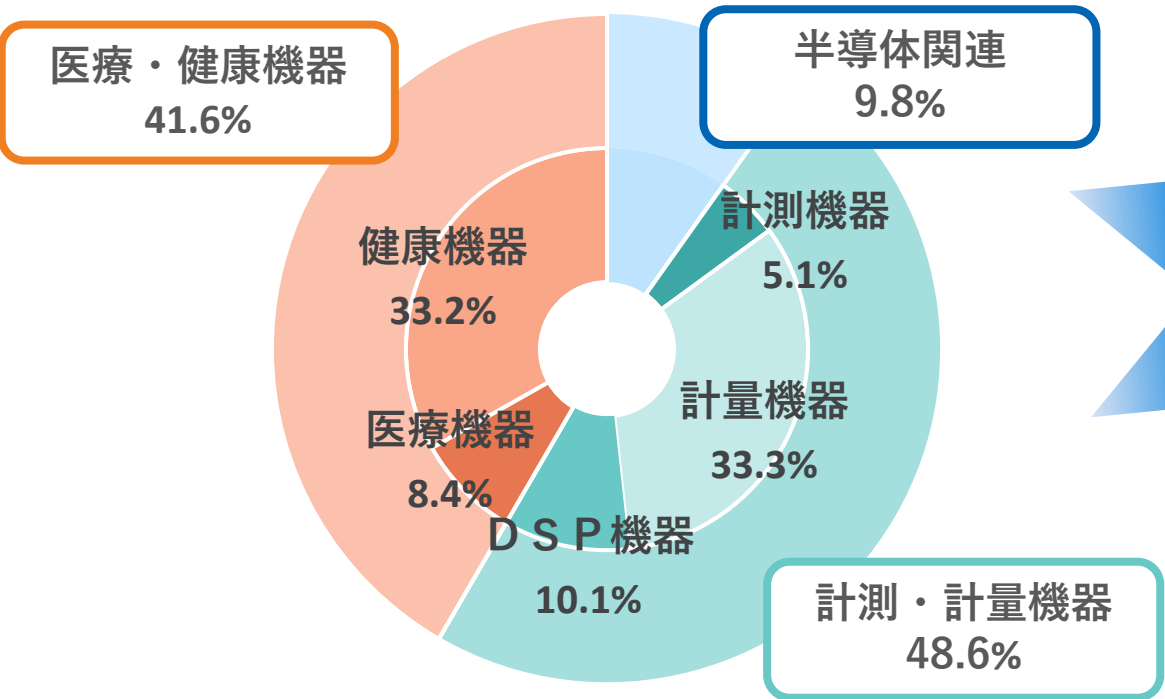
売上高
22/3期比
123.5%

営業利益
22/3期比
167.4%

事業ポートフォリオの変化

2022/3期 実績
売上高 **517億円**

2025/3期 目標
売上高 **639億円**



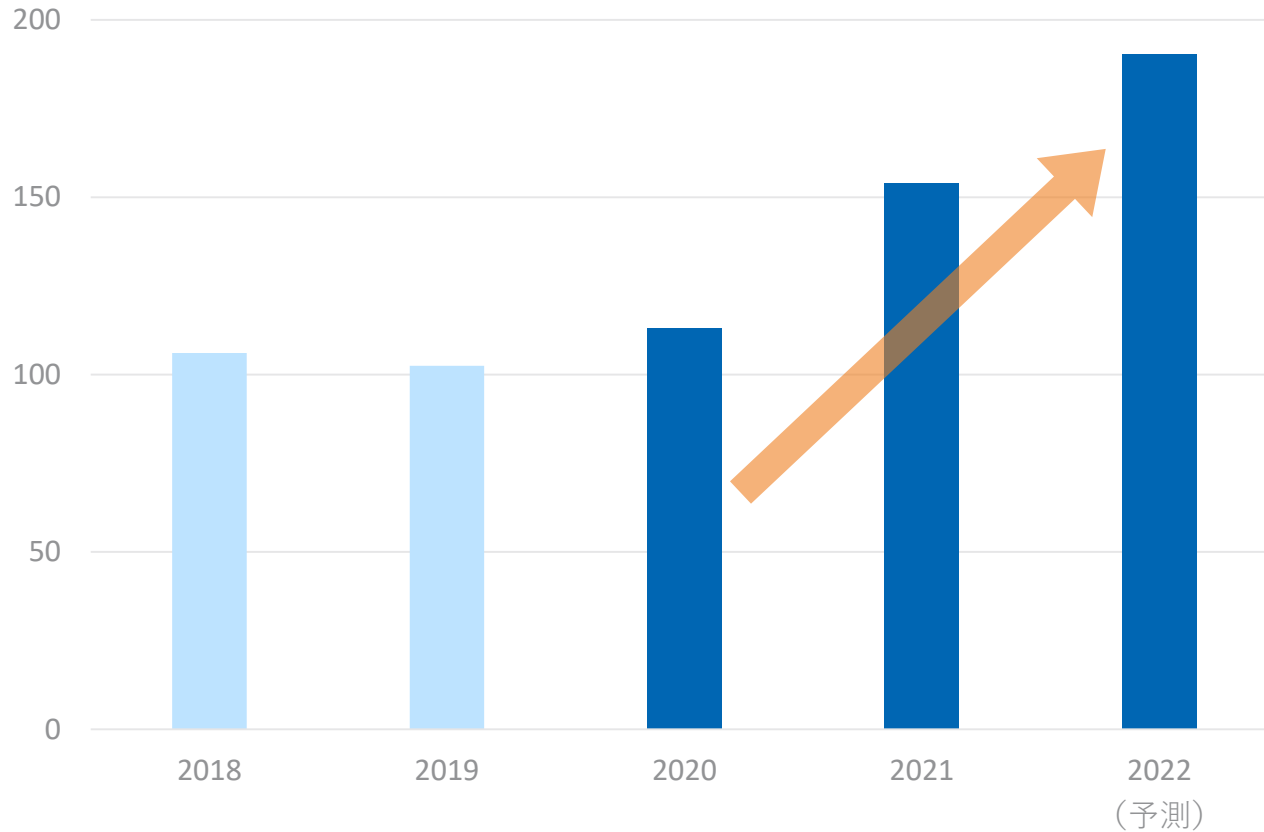
事業別売上計画

単位：百万円	2022/3期 (実績)	2023/3期 (予想)	2024/3期 (目標)	2025/3期 (目標)	対2022/3期 増加額	対2022/3期 増加率
半導体関連事業	5,082	6,400	7,780	8,960	3,877	176.3%
計測機器	2,655	3,150	3,540	3,900	1,244	146.9%
計測・計量 機器事業	17,235	18,460	19,900	21,570	4,334	125.1%
DSP機器	5,227	6,680	7,580	8,260	3,032	158.0%
小計	25,119	28,290	31,020	33,730	8,610	134.3%
医療機器	4,370	4,220	4,410	4,670	299	106.9%
医療・健康 機器事業	17,164	14,890	15,490	16,540	▲624	96.4%
小計	21,534	19,110	19,900	21,210	▲324	98.5%
売上高合計	51,736	53,800	58,700	63,900	12,163	123.5%

半導体関連事業

半導体の設備投資額

(単位:10億ドル)



(出所:IC Insights)

デジタル社会の実現に向けて
半導体需要の急速な高まりを受け
**大手半導体メーカー各社は
設備投資拡大**

- ✓ 新型コロナの世界的な感染拡大により
テレワークが急増
- ✓ 半導体は5G、ビッグデータ、AI、IoT、
自動運転、ロボティクス、スマート
シティ、DX等デジタル社会を支える
重要基盤



電子ビームの照射方向の制御で、
精度・速度ともに世界最高水準

電子ビーム露光装置に組み込む基幹
ユニットを提供

強み

- 電子銃は電子ビームを発生させる設備で世界でもトップクラスの出力と安定稼働率
- ナノスケールの観察測定が可能な電子顕微鏡や、ナノスケールの加工に利用する電子ビーム微細加工装置などへ応用可能

HOLON

フォトマスクの回路図の寸法測定
装置で世界トップ

半導体デバイスを製造する前工程
で使われるフォトマスクの回路図
の寸法測定装置

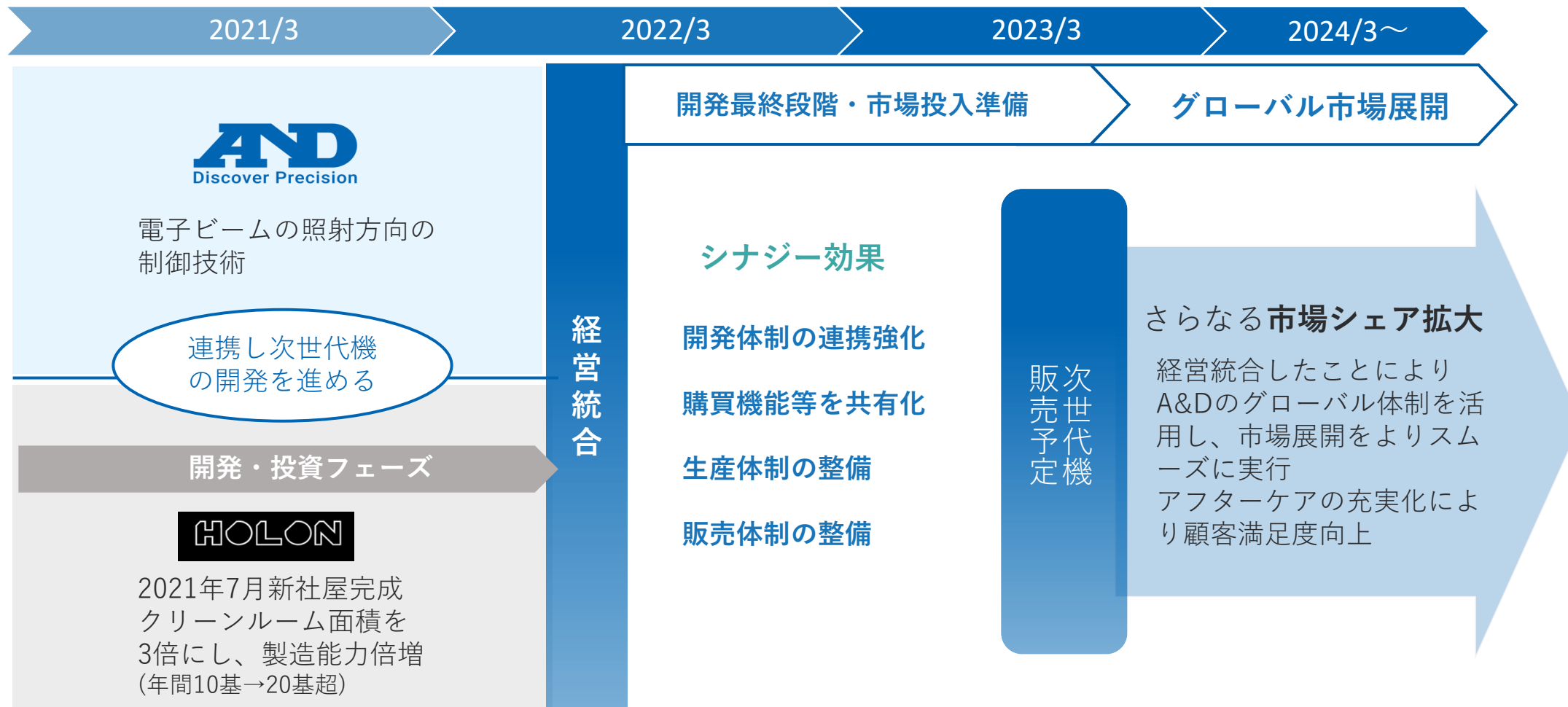
強み

- 電子ビームは、微細な回路パターン寸法の測定に最適
- 顧客仕様に合わせた高性能・高付加価値のオンリーワンの装置を提供

**2つの世界最高水準の技術力を活かし
世界ニーズに応える製品開発力を向上**

次世代機市場導入ロードマップ

次世代機の市場投入に向けてグローバル体制を整え、市場シェアを拡大



拠点ネットワークの活用によるマーケット戦略

今回の経営統合により、A&Dの海外拠点を活用することで
半導体関連事業の売上・利益拡大を目指す

※販売やサービス機能含めて今後の具体的な活用について両社間で検討フェーズ



韓国(A&D
KOREA Limited)

生産機能として
A&Dの開発・技術セン
ターやオリエンテック
の活用を検討



台湾(A&D
SCIENTECH
TAIWAN LIMITED)



米国
A&D ENGINEERING,
INC.
A&D Technology Inc.

購買機能活用による コストダウン

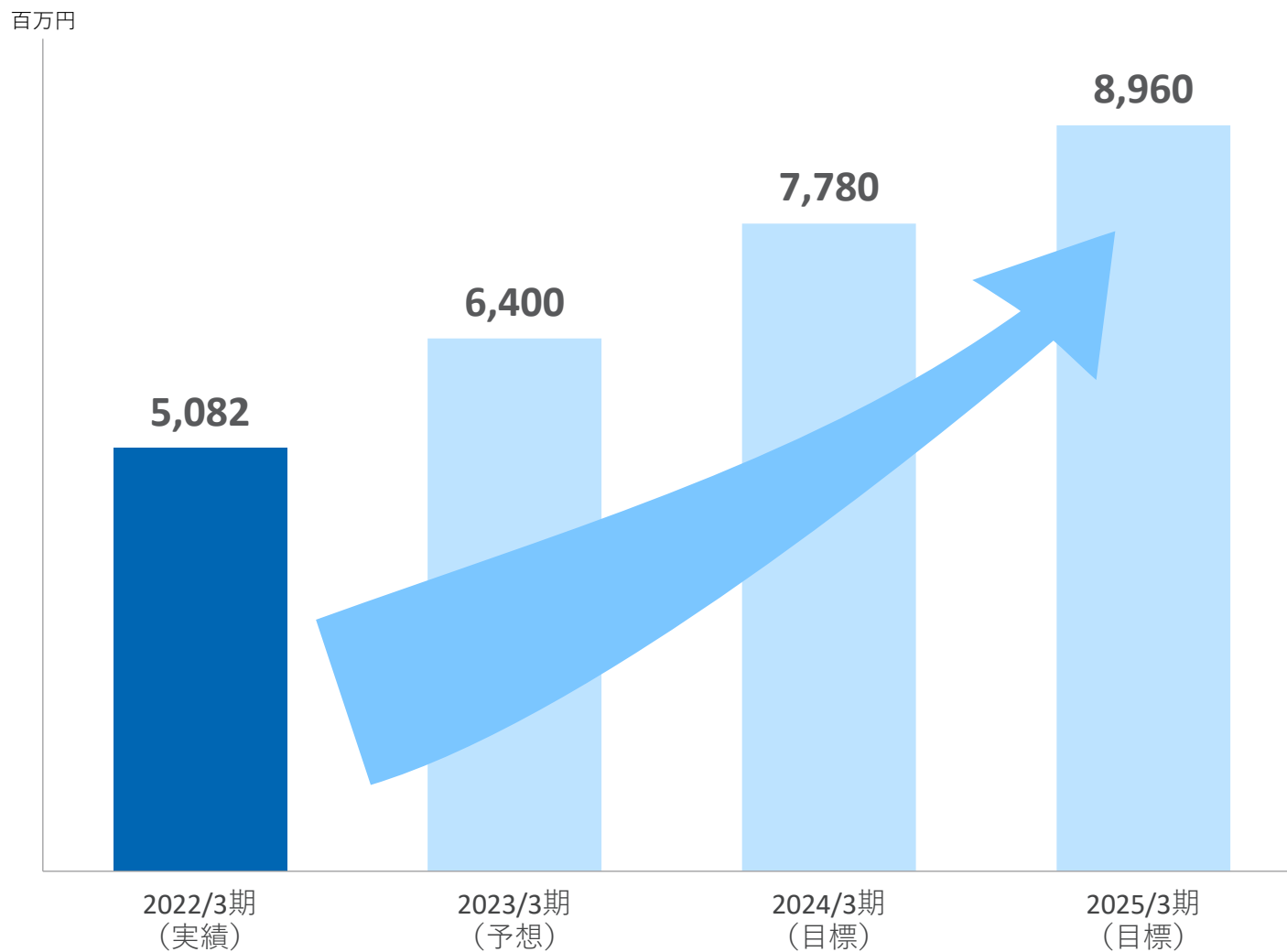
購買機能や購買情報を共有化することにより、素材、部品の調達コスト及び輸送コストの削減を図る

生産設備活用による 生産性向上

従来ホロンが外注していた重要部品の内製化を行い、従来の製造リードタイムの短縮と品質、利益率向上、半導体関連事業の生産性向上を図る

海外拠点の活用

エー・アンド・デイが海外に有する販売拠点をサービス拠点として活用。ホロンの顧客に対するアフターケアを充実させることで売上・利益の増大を目指す



22/3期比

2025/3期

176.3%

医療・健康機器事業

家庭から医療機関まで対応した製品をグローバルに展開

計測技術と医学的知見に基づく確かな品質で長年培ってきた信頼と実績

日本国内のみならず、世界の人々の医療・健康をサポート

国内トップレベルのシェアを誇る
A&Dの製品群

世界で約10%のシェア※を誇る
A&Dの家庭用血圧計

携帯型自動血圧計 (ABPM)



医科向け業務用体重計
(メディカル計量器)



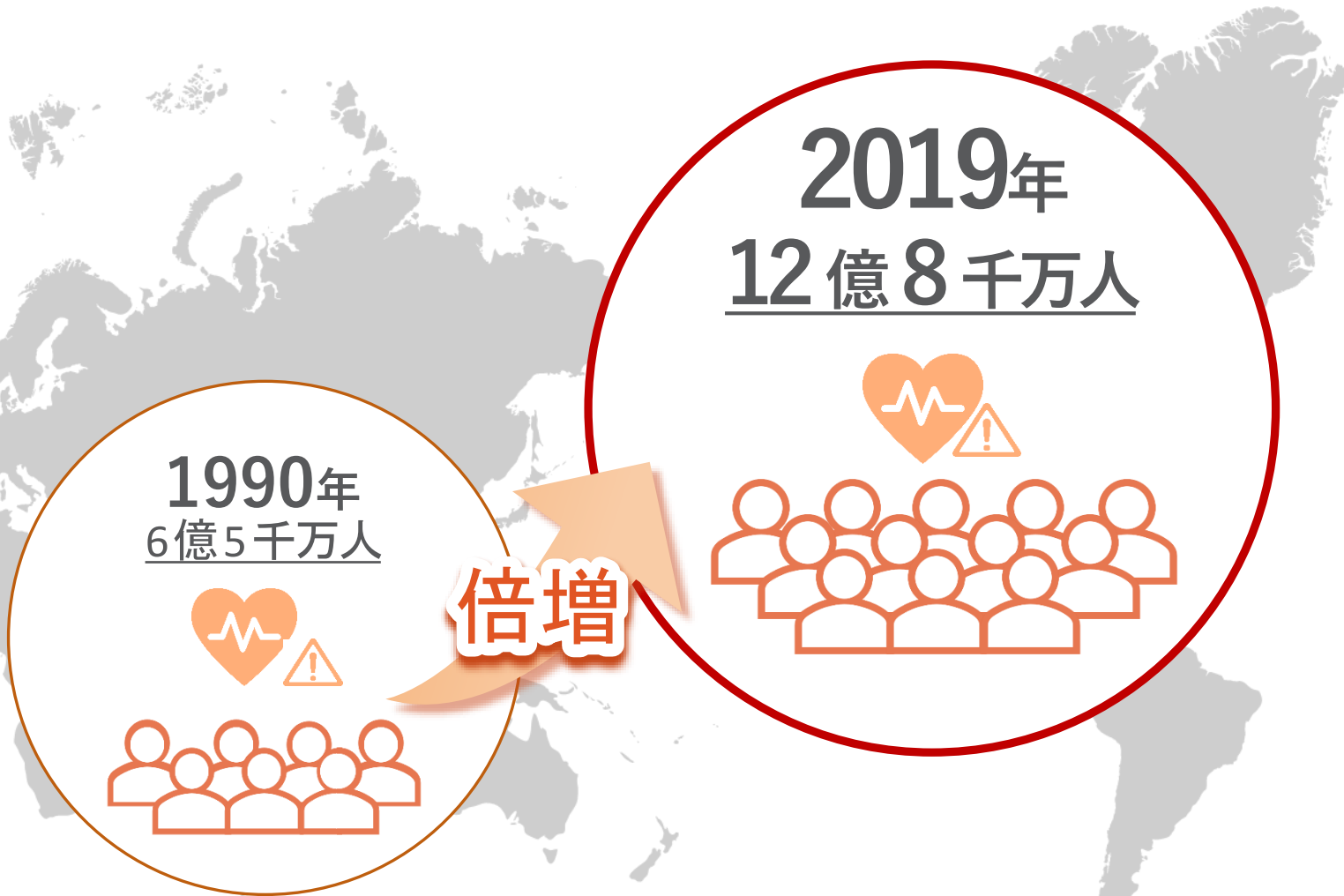
上腕式血圧計



手首式血圧計



※当社調べ



世界の 30～79 歳の高血圧患者数は 1990 年の 6 億 5 千万人から 2019 年の 12 億 8 千万人に倍増し、7 億人以上が治療を受けていないと推定

高血圧は、心臓や脳、腎臓の病気を発症する危険度を高めることから、喫煙と並び世界の疾患と死亡の主な要因。家庭や健診での血圧測定で高血圧を容易に発見し、早期治療が求められている。

※出所：Imperial College Londonと世界保健機関（WHO）

健康寿命の延伸ニーズを捉えた製品群の開発、販売を強化しシェアを拡大

販売強化

ICT対応製品

(血圧計・体組成計・体温計)



健康意識の高まりにより家庭での需要増加

- ・一般量販店向けモデルの拡販
- ・OEM向けモデルの取引拡大
- ・北米での販売強化

医科向け製品

(全自動血圧計・携帯型自動血圧計・業務用体重計)



医療機関・非医療機関両方での需要増加

- ・海外導入エリアを増やし販売拡大
(韓国、中国、豪州、南米)

製品ポートフォリオ拡大

パルスオキシメータ

B to B向けの他、
B to C向け製品をリリース



ライフレコーダ

ウェアラブルデバイスとして当社ICT製品との連携を行い、トータルソリューションとして展開



スケールベッド

高精度かつ透析室の様々なニーズに対応した体重計として治療分野に展開

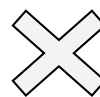


株式会社タニタとの業務提携

お互いの強みを活かし、競争優位性がある商品ラインアップを拡充
国内、グローバル市場に向けて製品、サービスを展開

・医療・介護領域の技術・商品に強み

－アナログ計測技術－
生体情報を高精度で再現性のあるデータ
として取得・活用



・未病・予防領域の技術・商品に強み

－タニタアルゴリズム－
国内外15,000件以上の生体データを蓄積し
開発された体組成計測アルゴリズム

機器の相互連携を実現することで
付加価値の高い新商品・新サービスの創出

- ✓ 新商品開発スピード加速
- ✓ 体組成計測アルゴリズムの標準化推進
- ✓ グローバル競争力強化

ヘルステック推進の為のベースとなる「はかる」技術を起点に、
健康寿命の延伸に寄与するソリューションを開発・提供

タニタアルゴリズム搭載



通信機能付き体組成計



自動身長計付き体組成計

タニタ提供のヘルスケアプラットフォーム
「ヘルスプラネット」とのデータ連携

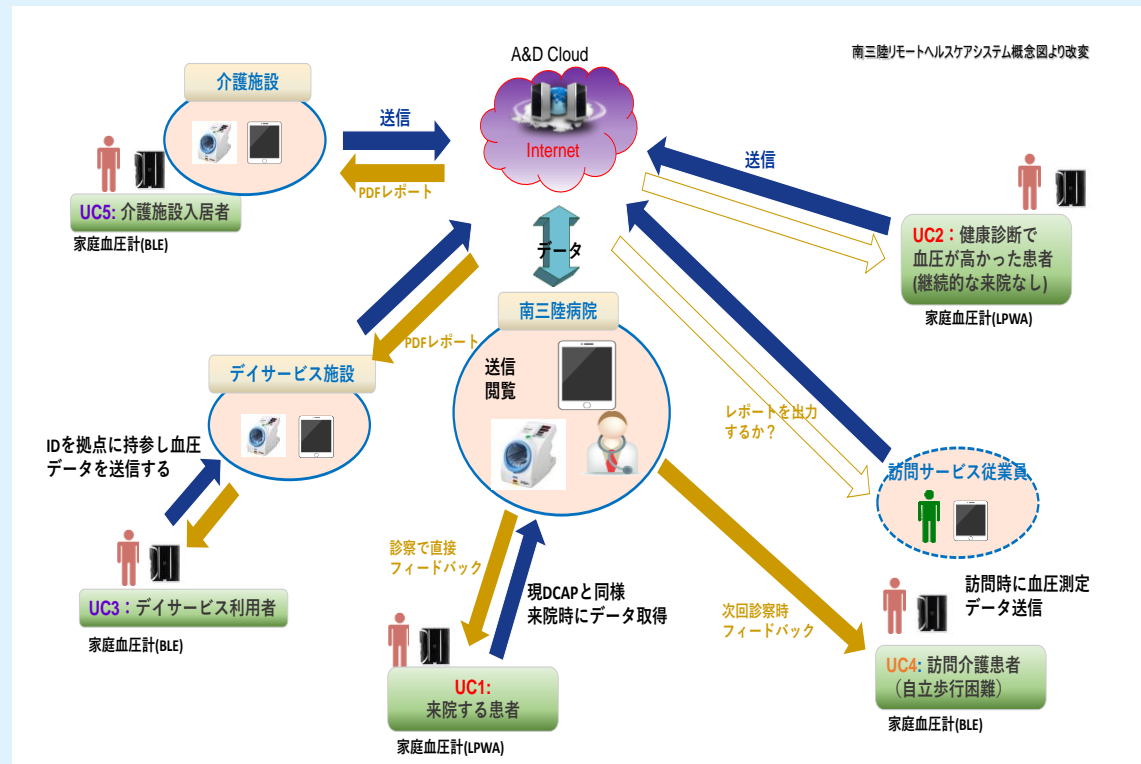


上腕式ホースレス血圧計

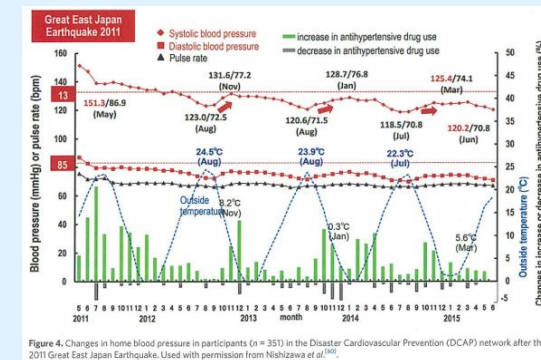
自治医科大学との協業による地域遠隔医療に貢献するソリューションを構築中

DCAPシステム*)災害時循環器疾患予防支援システム(Disaster Cardiovascular Prevention Network)

この度、システムをリニューアルし地域医療支援システムとしてPoCを開始する



阪神淡路大震災の経験を活かし、津波から助かった命を守るために時代に先駆けて循環器疾患遠隔支援システムを構築する



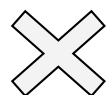
約10年間の運用により、血圧の良好なコントロールが可能であることが実証された

※災害時循環器疾患予防支援システム(Disaster Cardiovascular Prevention Network)

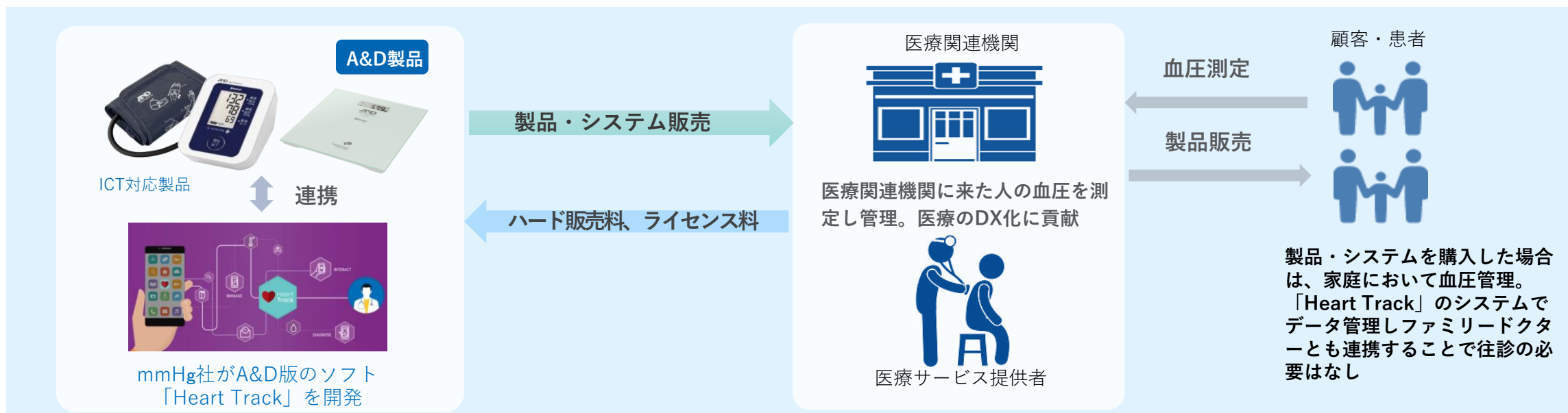
海外でのリモートペイシェントモニタリング事業領域を強化

北米における遠隔医療の拡大に伴い、カナダmmHg社との協業を推進しグローバル展開も視野に入れた、人々の健康を維持する身近な高血圧管理健康インフラを構築していきます。

カナダmmHg社と協業し、遠隔医療事業を推進



mmHg社について：カナダの法人「mmHg社」の代表Dr. Raj PadwalはAlberta大学教授、高血圧疾患研究の大家であり、かつてカナダ高血圧学会のガイドラインメンバーとしても活躍



“健康経営優良法人”などの認定制度開始を受けて健康経営を進めている企業は大企業を中心に増加しており、市場は拡大。ニーズを捉え、企業や教育機関に当社の血圧計・伸長体重計をはじめとする製品群の導入推進を図る。

当社製品活用し、IT化

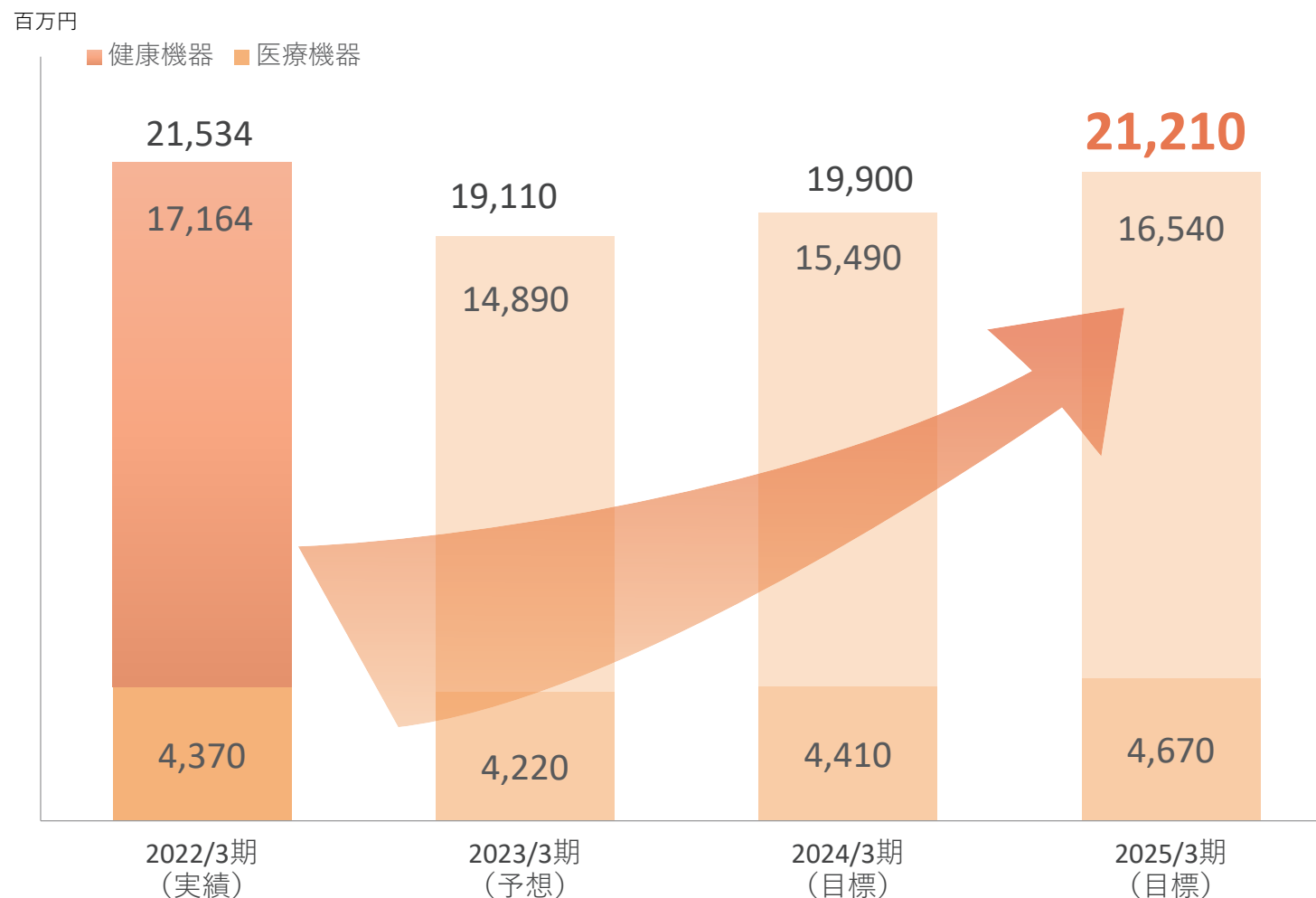
- ・ 個人IDと測定結果を紐づけてパソコンへ送信しデータ蓄積
- ・ 蓄積された測定データはCSVファイルに出力して、エクセルでの管理や編集も可能
- ・ 健診分野で実績の多いA&D機器をはじめとした他社製品を含む100モデル以上と接続実績



企業、教育機関等のメリット

Merit ○

- ✓ 健診スタッフ数の削減や無人化
- ✓ 検査時間の削減
- ✓ 混雑回避
- ✓ 入力作業の省力化、業務効率向上
- ✓ 入力・転記ミス防止、確認作業の短縮
- ✓ 検査・データ処理の時間短縮
- ✓ 低コストでのシステム構築
- ✓ 即時データ化 等



22/3期比

2025/3期

98.5%

医療機器

106.9%

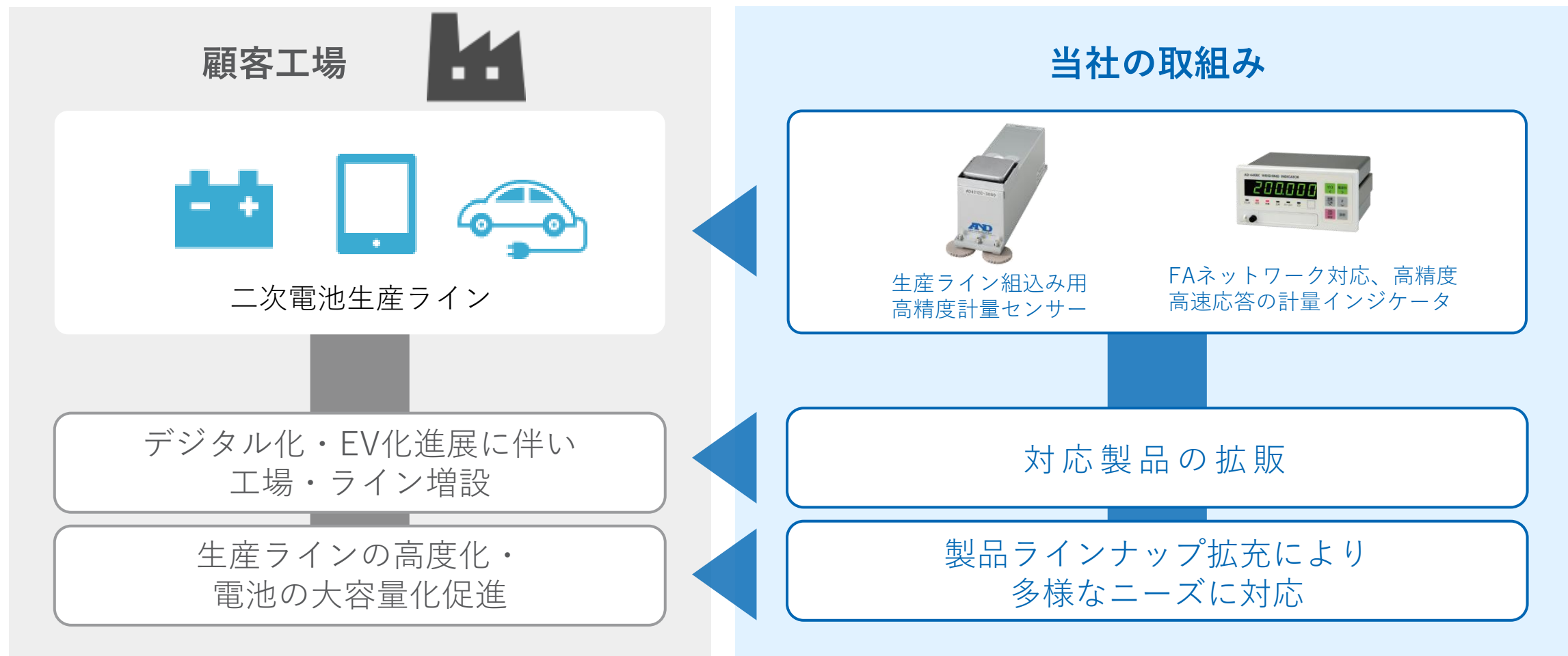
健康機器

96.4%

計測・計量機器事業
計量機器

二次電池生産ライン向け製品強化

デジタル化、EV化の流れにより、当社製品需要は高まる。進化するテクノロジーに合った製品群を開発し、製品ラインナップを拡充していく



流通強化（天秤・はかり）

- ディストリビューター網、CRM活用による販売強化
- 新規eコマースの開拓、既存代理店との取引拡大
- カナダや南米向けへの販売拡大



マイクロ（マイクロ）
電子天びん



汎用電子天びん



加熱乾燥式水分計

企画・開発強化（天秤・はかり、検査装置）

- 外部機器との接続性やデータインテグリティを考慮した製品開発
- ニッチマーケット向けの提案強化
- 顧客ニーズに合わせた現地でのユニット組立・改造・メンテナンス対応



ウェイトチェッカー



X線検査機

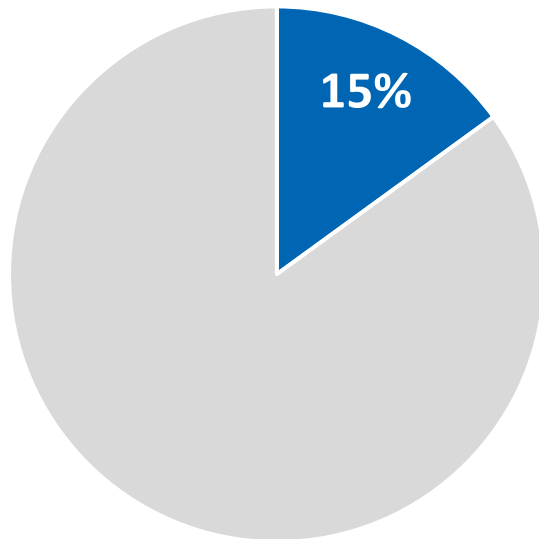


金属検出機

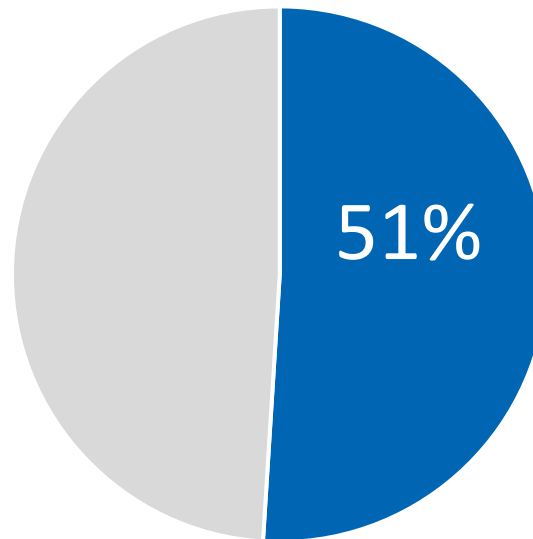
2025年3月期までに北米での計量機器売上高3割増を目指す

計測・計量機器事業
計測機器・DSP機器

2020年電動車の割合



2040年電動車の割合
(予測)



**2040年
世界において電動車が
占める割合は50%超の
予測**

低公害車に対する需要の増加や、電気自動車の導入を加速させる政府の取り組みなどにより電気自動車の市場規模は急速に拡大する見込み

出所:IEA 「ETP(Energy Technology Perspectives)2017」に基づき作成
電動車には燃料電池自動車 (FCV)、電気自動車 (EV)、プラグインハイブリッド自動車 (PHV)、ハイブリッド自動車 (HV) を含む

技術力における優位性

電動車開発・安全性の確保に必要なテクノロジーを保有
他社にはない計測・制御・シミュレーションを
一体化した当社独自テクノロジー



応用分野

**シミュレーション
による車両設計検証**

SILS (Software in the Loop Simulation)
HILS (Hardware in the Loop simulation)

**駆動系(モータ・eAxle・エンジン他)
ユニット試験**

**テストベンチ
(Test Bench)**

車両動特性試験

**VDT
(Vehicle Dynamics Testing)**

実車走行試験

**VMS
(Vehicle Measurement System)**

カーボンニュートラル社会の実現に向けて

経済産業省主導モビリティ社会の最先端の開発を推進している **MBD 推進センター**※に参画

自動車産業における MBD の飛躍的な向上に貢献することを目指します。

当社の技術をモデルベース開発のコアとなるプラントモデル精度を高めるための「第 2 世代の正確な計測 (MBD を活用した計測)」に進化させています。

今後は JAMBE 活動の中で、MBD に関する情報収集の強化および会員企業・団体との関係強化のみならず、計測技術やモデル作成技術に関する情報を会員各社に提供させていただくことにより、自動車産業における MBD の飛躍的な向上に貢献することを目指します。

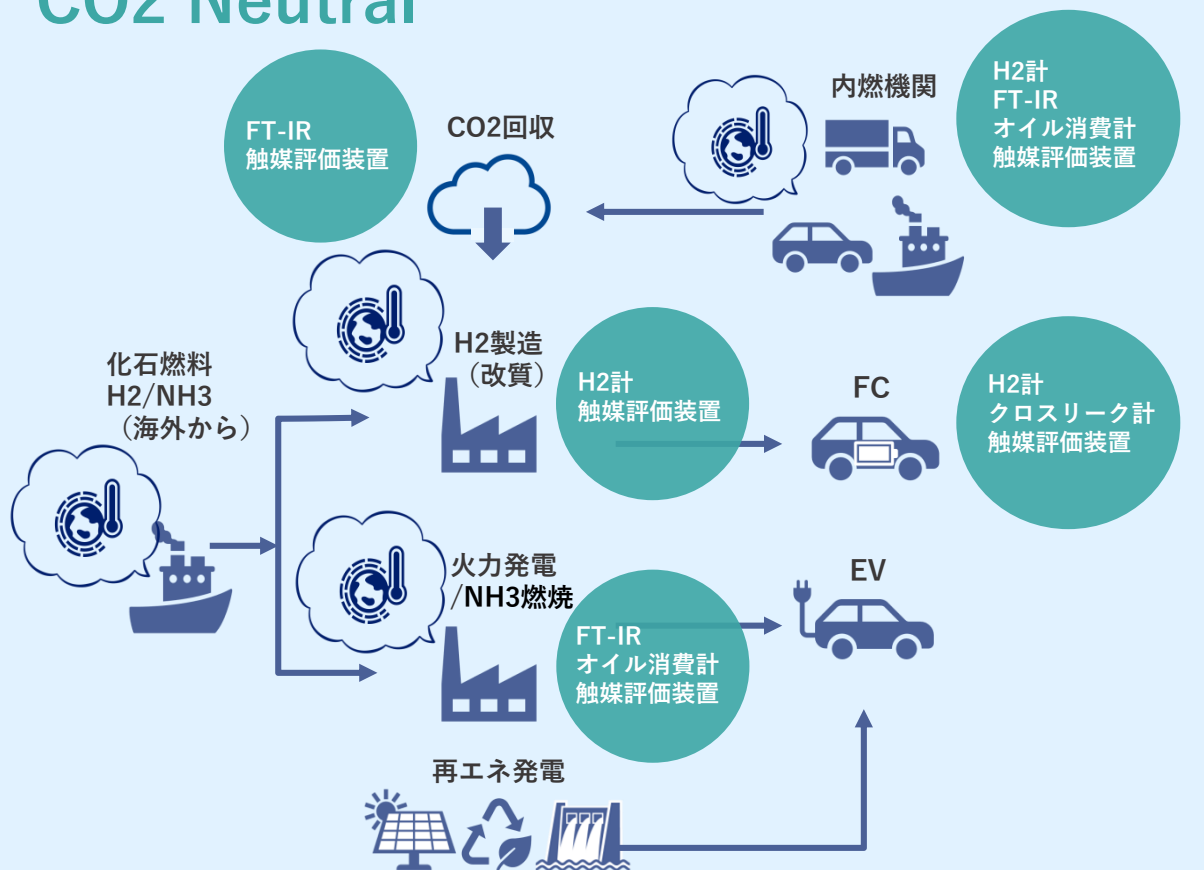


※MBD 推進センター (略称: JAMBE) は、2021年7月9日に、全体最適で高度なモノづくりを手戻りなく高効率で行える、モビリティ社会の最先端の開発コミュニティの実現を目的として発足

※MBD (Model-Based Development: モデルベース開発) とは、設計開発活動において、実物の試作部品ではなくコンピュータ上で再現した「モデル」にその軸足を置いて活動を進めることで、性能構想、設計、部品試作やテストにかかる時間と手間を大幅に短縮/削減し、効率的に開発を行おうとする開発スタイルです

カーボンニュートラル社会実現に必要な不可欠な計測技術・装置を提供
地球環境保全という世界共通の課題に対し、最先端の計測技術でZero Emissionの達成に貢献しています

CO2 Neutral



燃焼に関する研究・開発の現場に FTIR分析計がすでに多数導入

当社製品の強み

- 水素・アンモニア燃焼関連の豊富な実績 (官庁・研究機関・民間企業への納入)
- 自社校正技術による未燃成分やH2Oなどの高濃度共存化での高精度計測
- 堅牢設計によるラボ/フィールド間での共用、高耐震性
- 減圧サンプリングによる耐NH3性、汚れにくさ
- ハード構成の柔軟性

当社のプラットフォーム活用により、自動車業界や他分野での各種試験の自動化・リモート化が実現

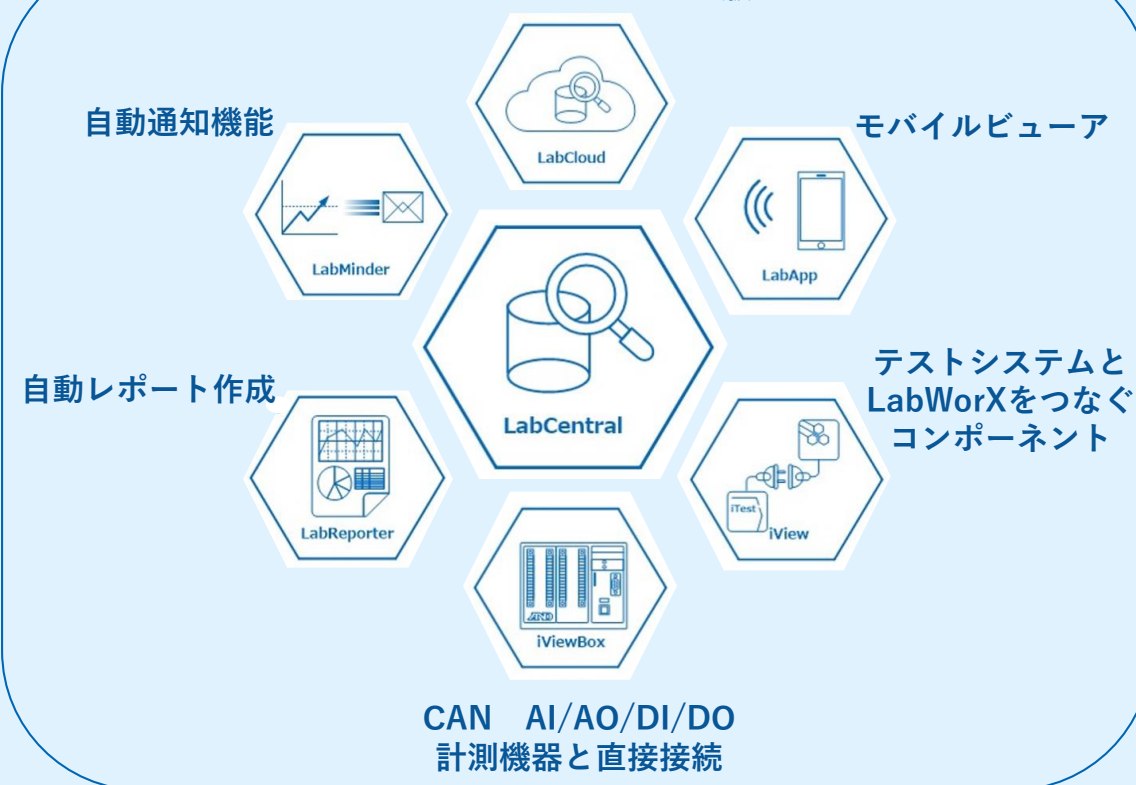
当社の強みである多様なシステムを構築できるプラットフォームを活用

テストセル・試験の統合管理環境



自動車業界や他分野での
各種試験の自動化・リモート化が実現

LabWorX LabCentralのクラウド版



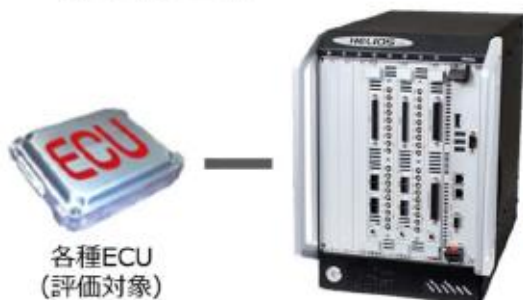
電動車開発向けリアルタイムシミュレータ「EV-Sim HELIOS Edition」を共同開発し販売開始



制御開発・検証の効率化に貢献

EV-Sim HELIOS Edition (全体イメージ)

・机上に設置が可能なコンパクトサイズ
サイズ：W:224.84/H:350/D:403mm
重量：約11.6kg



各種ECU
(評価対象)

新規開発

高精度モデル
モータ/昇圧コンバータ



実装

車両/制御/バッテリー
(お客様ご準備)



実装

大容量
FPGAボード(※)



CPUボード

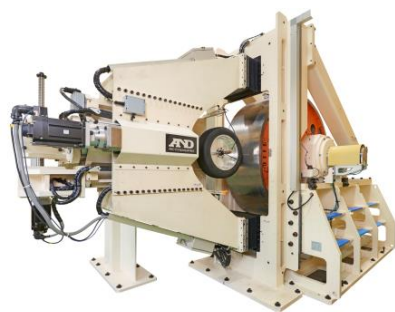
電動車の商品性向上のため制御は複雑化・高度化しており、その多くの検証を実機評価に費やしている。

「EV-Sim HELIOS Edition」は実機相当の高精度モデル（モータ/昇圧コンバータ）を用いて電動車をリアルタイムシミュレーションすることで、従来は実機で評価していた内容を机上で可能にする。

※FPGA：Field Programmable Gate Array の略で、何度でも書き換えられるデジタル回路の電子部品

グローバル拠点活用による販売拡大、保守・メンテナンス強化によりクライアントとの連携を強化

- ・ 海外子会社を通じての販売拡大(北米・中国・欧州)
- ・ 代理店を活用した各種試験機の海外展開推進(中国)
- ・ メンテナンス需要の囲い込みと保守提案の拡大
- ・ 定期保守契約の推進



タイヤ試験機



材料試験機

欧州
A&D Europe
GmbH



中国
愛安德技研貿易
(上海) 有限公司

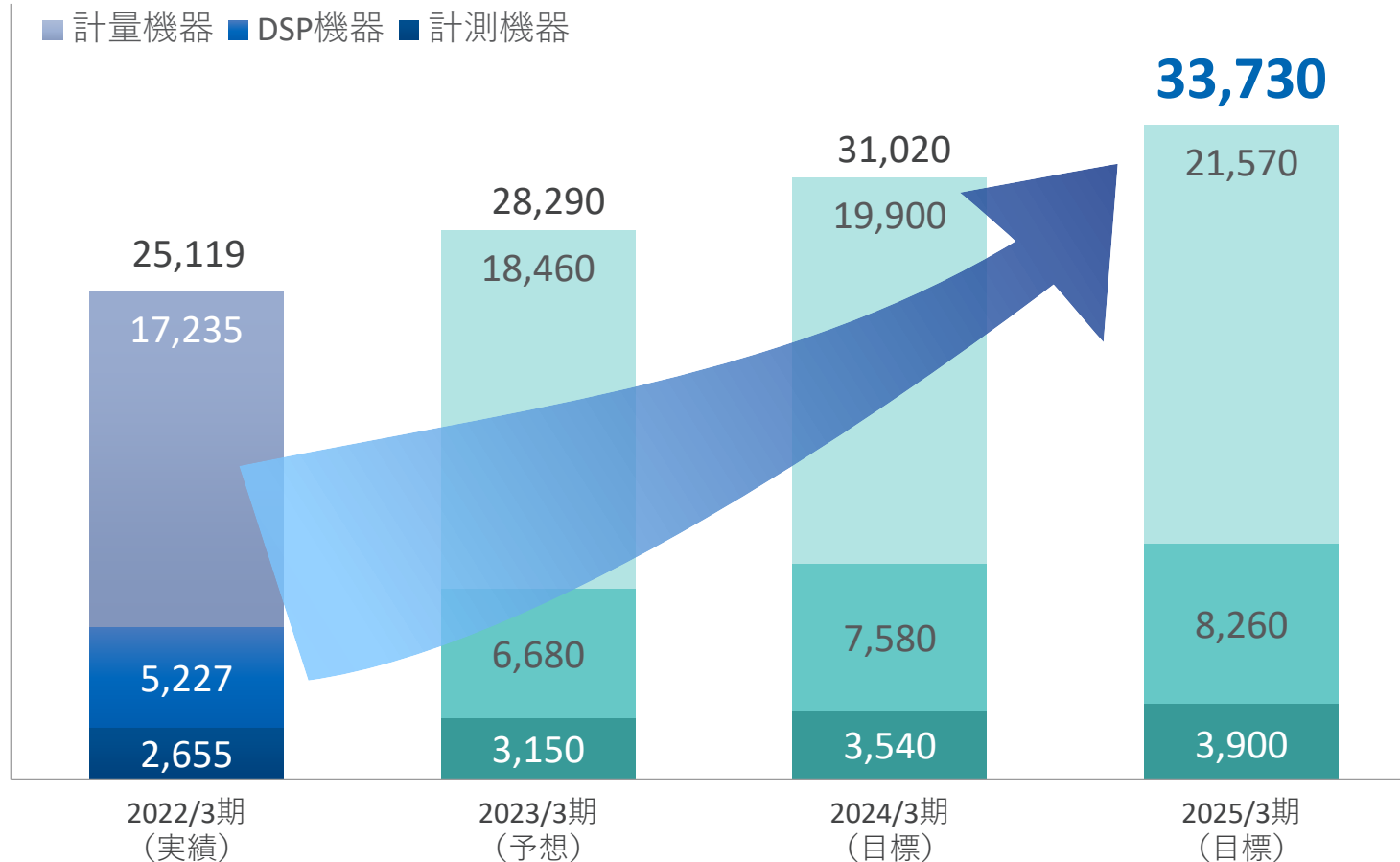


米国
A&D Technology
Inc.



日本

百万円



22/3期比

2025/3期

134.3%

計測機器

146.9%

計量機器

125.1%

DSP機器

158.0%

わたしたちは、長年培ってきた「はかる」技術を社会に提供することを通じて、科学技術の発展、産業の高度化、人々の健康な生活に寄与し、豊かで持続的な社会づくりにグローバルに貢献する企業グループを目指します。



デジタル
社会



環境

カーボン
ニュートラル



医療

健康長寿
社会



「はかる」をコアとした技術革新

AND

HOLON

A&D ホロンホールディングス